KOKORO

意style

第107期 報告書

2017年4月1日～2018年3月31日

抵抗溶接用電極

抵抗溶接用電極はタングステン金属の優れた高温特性、高抵抗である特性を応用した商品で主に自動車・家電業界の部品製造時に利用されています。特に、自動車部品を製造する際は、大電流を使用する過酷な条件下でも高寿命で安定した性能を発揮するため、取引先から評価いただいています。今後、電気自動車が主流となっていく中で、さらなる需要拡大が期待されます。

日本タングステン株式会社

● 日本タングステングループ経営理念

企業理念
Our Corporate Philosophy

日本タングステンは、
世界の人々と従業員の明るい未来を実現するために

●マテリアルからはじまる価値創造に挑戦し続けます。

●常にNo.1を目指し、かけがえのない存在であり続けます。

行動規範
Our Way

●私たちは、情熱を持って、失敗を恐れずチャレンジします。

●私たちは、当事者意識を持って、すぐ行動しやり遂げます。

●私たちは、相手の立場になって、期待以上で応えます。

CONTENTS

日本タングステングループ経営理念	1	事業別の業績概要	7
株主の皆様へ	2	業績の推移	8
トップインタビュー	3	私たちの“毎日”の中で活躍するニッタン商品 Vol.3	9
中期経営計画について	5	会社概要・株式の状況	10

本冊子には、当社および関係会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、経済動向や個人消費、市場需要、税制や諸制度などに関わるリスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性があることをご承知おきください。

● 株主の皆様へ

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第107期報告書（2017年4月1日から2018年3月31日まで）をお届けいたします。

当社は1931年に、タングステン製品の製造・販売会社として創業してから今日まで、粉末冶金技術をベースにタングステンを主体としたレアメタル材料製品や、ファインセラミック製品を提供し、多くの産業分野でご愛顧いただいてまいりました。

当社は2031年に創立100周年を迎えますが、当社が将来に亘って永続的な成長を持続し、社会貢献していくために、その足掛かりとして「日本タングステングループ2020中期経営計画」を策定し、2018年5月に発表しました。

「日本タングステングループ2020中期経営計画」の3年間は、将来の経営基盤をつくる大切な時期と考え、全社一丸となって経営目標達成に向けて取り組んでまいります。

今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年6月

取締役社長　後藤信志

創立100周年に向けて積極的な投資や新商品開発を行い、持続的な成長を目指します。

Q 当期の決算のポイント等について教えてください。

大幅な増益を達成することができました。

当期における経済環境は、海外では、米国の雇用情勢や個人消費は底堅く、欧州でも輸出の増加等により景気は徐々に回復傾向にありました。一方、国内は、海外経済の景気回復を背景に輸出増加や雇用環境の改善等により、緩やかな回復基調で推移するものの、国際的に深刻化する貿易摩擦への不安等も残り、先行きの不透明感は払拭されないまま推移しました。

このような経済環境のもと、当社グループは、展示会への出展や製品ガイドブックの発行等、新規顧客への販売促進活動を展開し、既存顧客に対しては、技術説明会を開催する等積極的な拡販活動を行い、収益機会の拡大に取り組んでまいりました。

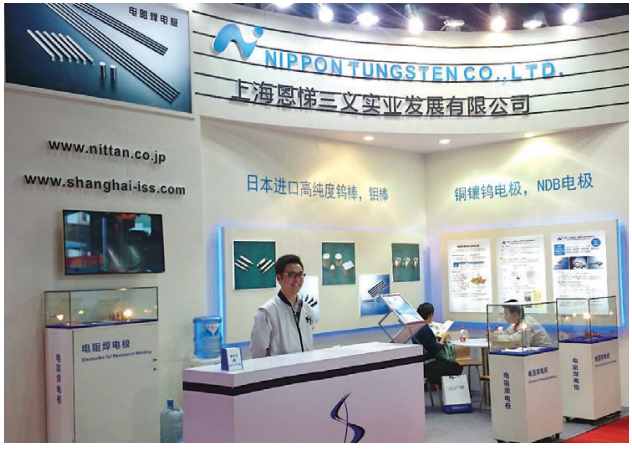
この結果、衛生用品関連のNTダイカッターが海外市場で好調に推移し、また電子部品関連の電極製品や金型製品が国内/海外ともに堅調であったこと等により、当期の連結売上高は、前期比9.7%増の111億2百万円となりました。さらに利益面については、増収効果に加えて生産効率の改善およびコスト削減策が順調に奏功したこと、為替差損が減少したこと等により、営業利益は前期比59.5%増の7億55百万円、経常利益は同70.5%増の9億80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同48.4%増の6億96百万円と、各利益とも大幅な増益を達成することができました。

Q 様々な展示会へ積極的に出展していますが、効果や手応えをお聞かせください。

各展示会は、盛況で当社の製品優位性をアピールできる場となって、新規の引き合いを多くいただいております。

今年度の下期は中国で開催された「上海国際小型モーター展」を皮切りに、「オートモーティブワールド」、「関西医療機器開発・製造展」など当社の注力分野へフォーカスした展示会へ積極的に参加し、お客様のニーズ発掘に努めてきました。特に自動車関連、医療関連分野は技術進歩が速く、お客様が要求される仕様も多様化しているため、お客様とコンタクトして、常に最新の動向を把握するようにしています。

今回、自動車関連分野の展示会へ2回出展した抵抗溶接用電極(P9ご参照)については、海外関係会社とも連携して、新規顧客との接触や拡販にも成果を上げています。最近の傾向として、



自動車関連向けは品質重視で、中国のお客様からも品質の高い製品を求める声が高まっており、特に当社独自の「NDB（無欠陥接合）法」の優位性に興味を示していただき、当社の商品は高い評価を受けています。

今後も、海外の展示会を含め、積極的に出展活動を行うことで、新規の顧客獲得を進め、事業の成長に繋げてまいります。

Q 当期の配当について聞かせてください。

年間配当金は前期よりも実質25円の増配となる、1株当たり80円とさせていただきました。

当社では、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目安に、新商品開発を推進するための設備・人財・研究等への戦略的投資、中長期的な企業財務体質の強化等を総合的に勘案しつつ、安定的・継続的な配当に努めております。また、1株当たりの株主価値を向上させるとともに、資本効率の向上を図るため、適宜自己株式の取得に努めてまいります。

こうした方針のもと、当期の期末配当金は1株につき50円とさせていただきました。なお当社では2017年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これにより、実施済みの中間配当3円と合せた実質的な年間配当金は1株当たり80円となります。これは前期よりも実質的には25円の増配となります。

Q 来期の運営方針と見通しについてお聞かせください。

ダイカッター増産や新商品開発のための積極的な設備投資により減価償却費等が増加し、増収減益の見通しです。

今後の経済環境は、米国における各種政策の動向等、不透明感が残るものの、全体として緩やかな回復が継続するものと考えられます。

このような環境のもと、当社グループは「日本タングステングループ2020中期経営計画」の各アクションプランの遂行に注力してまいります。なお主力製品であるNTダイカッターについては、生産能力増強を目的とした基山工場の建屋増築工事が2018年3月に終了し、2018年5月に生産を開始しております。このほか、NTダイカッター製品のグローバル展開の一環として、中南米市場における拡販及び再研磨サービスを強化するため、ブラジルに子会社を設立することといたしました（さらなる詳細についてはP6をご参照願います）。また、新商品開発のための積極的な設備投資も行います。

これら一連の取り組みを通じ、来期の連結売上高は113億円（前期比1.8%増）を見込んでおります。一方、積極的な設備投資による減価償却費の増加等により、営業利益は6億50百万円（同14%減）、経常利益は8億10百万円（同17.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は5億70百万円（同18.1%減）を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●「日本タングステングループ2020中期経営計画」について

当社は、**創立100周年(2031年)**に向けた飛躍への足がかりとして、2018年度から2020年度までの3ヶ年を対象とする中期経営計画**「日本タングステングループ2020中期経営計画」**を策定いたしました。当中期経営計画では**4つの基本方針**を設定し、最終目標の達成に向けて**重点項目について各施策を実行**してまいります。

●基本方針

1 人財の育成
自発的に考え、行動する社員の育成

幅広い視点から深く考える人財を育成し、
個人だけでなく組織の課題設定力・課題解決力を
向上させていきます。

2 新商品の創出
**お客様のニーズをいち早くつかみ、
継続的かつスピーディに新商品を創出**

新商品の創出活動を活性化させ、
NO.1の価値創造に挑戦します。

3 ものづくりの強化
**お客様に満足していただける良いものを
安く、早くつくる、ものづくり力**

生産効率の向上、コストの削減、品質の安定を図り、
利益の拡大を目指します。

4 グローバル市場での拡販
グローバルネットワークの拡大

世界中のお客様へ向けたサービスの提供、販売、
製造体制を確立し、売上拡大を目指します。

●施策の概要

1 人財戦略

役職者の人財育成力の向上
年間を通じた役職者育成教育を実施します。

正当な評価制度
頑張った人財が正当に評価される仕組みを強化し、運用します。

人事ローテーションの実施
多様な職務経験を通じた各人の成長を支援します。

人財データベースの構築
必要な人財を必要な組織に配置するように活用します。

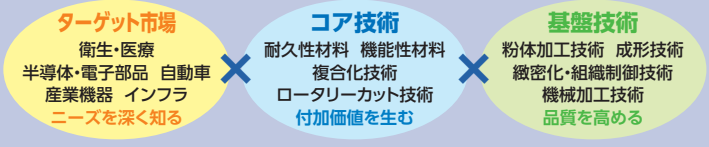
2 新商品戦略

マーケティング機能・新商品開発の質的向上を図り、商品力・機能で差別化を目指す

3つの施策を土台として新商品を継続的に生み出すための体制・基盤を整備

新商品創出システムの構築
マーケティング戦略の機能を集約し、新技術・新商品を継続的に創出するための組織体制・プロジェクト体制を構築します。

市場・技術戦略
ターゲット市場にコア技術・基礎技術を集中し、戦略的に新商品を投入します。



オープンイノベーションの活性化
学会・協議会・共同研究活動などのほか、社内コンペの仕組みも導入し、オープンイノベーションを活性化させます。

3 ものづくり戦略

コストリダクション活動	全社連携して改善効果の高いコストリダクション活動に効率良く取り組み、利益を創出します。
全社の技術力の結集	全社の知識と知恵（技術力）を結集し、製造プロセスの変革を図ります。
ものづくり人財育成	力量や習得方法を明確化し、技能を効果的に向上させます。

ものづくり力強化
（現場力・技術力）

4 グローバル戦略

Topics

ブラジルに子会社を設立

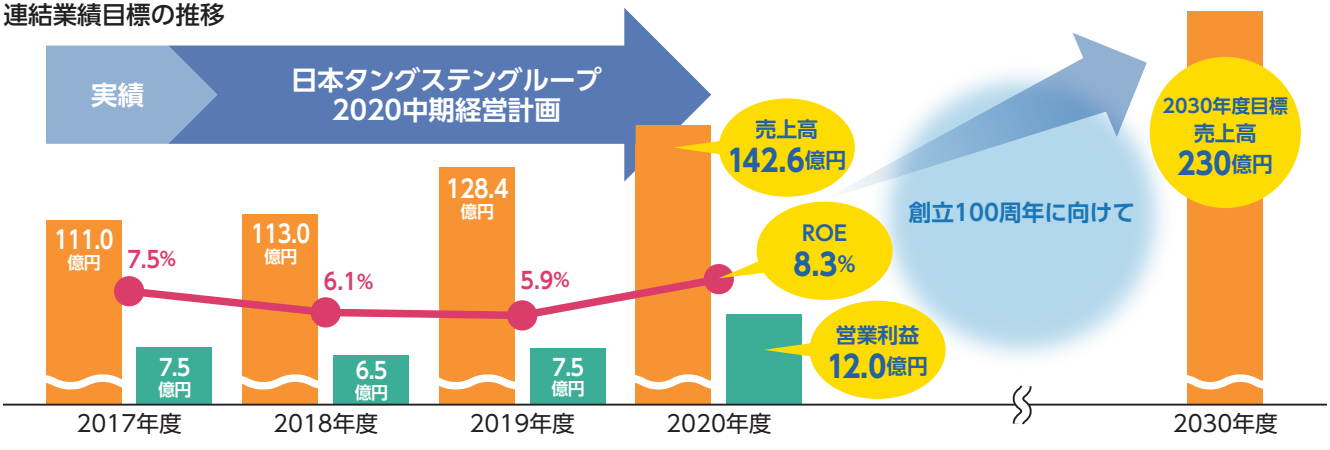
当社は、NTダイカッター製品のグローバル展開の一環として、中南米市場における拡販および再研磨サービスを強化するため、ブラジルに子会社を設立いたします。

会社の概要

社名	Nippon Tungsten do Brasil Ltda（仮称）
設立予定地	ブラジル連邦共和国サンパウロ州
設立予定日	2018 年8月
営業開始予定日	2019 年7月
出資予定額	2,500千US ドル（約275百万円）
出資比率	当社75%

●計数計画

連結業績目標の推移



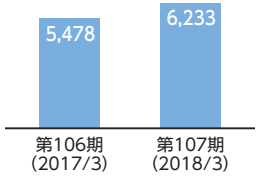
● 事業別の業績概要

機械部品事業

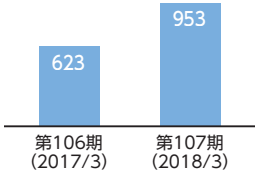
衛生用品関連のNTダイカッターは、海外向けが欧州での拡販活動等により増収となりましたが、国内向けが設備投資の一服感から低調に推移し、全体として売上高は微減となりました。一方、情報機器関連のハードディスクドライブ(HDD)用磁気ヘッド基板は需要回復により増収となり、電子部品関連の金型製品も好調に推移しました。

この結果、機械部品事業の**売上高は前年度比13.8%増の62億3千3百万円**となり、**営業利益は同52.9%増の9億5千3百万円**となりました。

売上高 (単位:百万円)



セグメント利益 (単位:百万円)

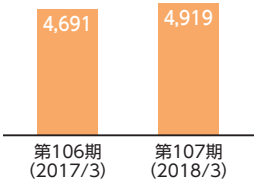


電機部品事業

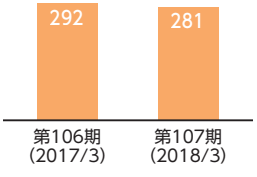
自動車関連の接点製品が中国市場での在庫調整もあり減収となりましたが、電子部品関連の電極製品が国内、海外ともに好調に推移し、増収となりました。

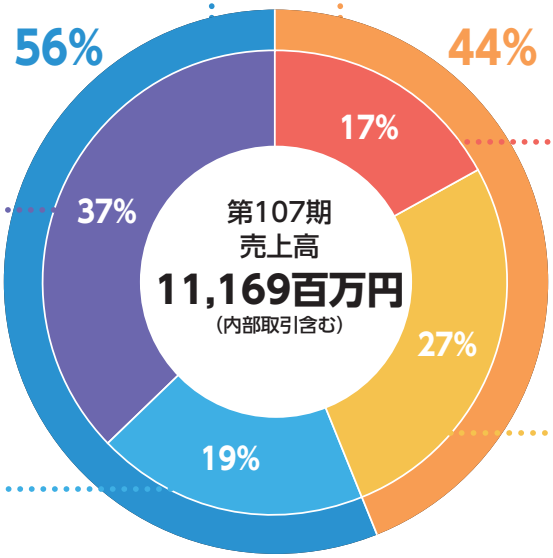
この結果、電機部品事業の**売上高は前年度比4.9%増の49億1千9百万円**となりましたが**営業利益は**製品構成の影響や労務費等のコスト増により**同3.7%減の2億8千1百万円**となりました。

売上高 (単位:百万円)



セグメント利益 (単位:百万円)





●超硬合金製品
売上高 **4,176百万円**

●セラミック製品
売上高 **2,057百万円**

●金属材料製品
売上高 **1,923百万円**

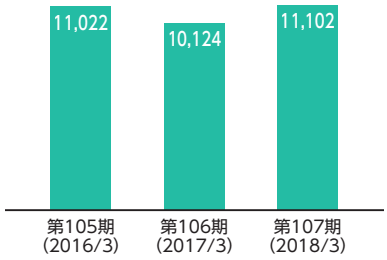
●電気・電子材料製品
売上高 **2,996百万円**

(注)売上高はセグメント間の取引を含んでおり、営業利益は全社費用等調整前の金額です。

業績の推移

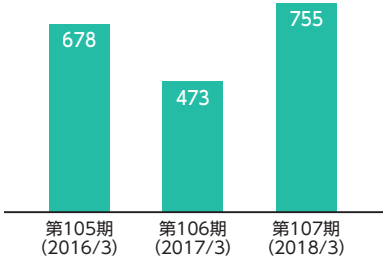
売上高

(単位:百万円)



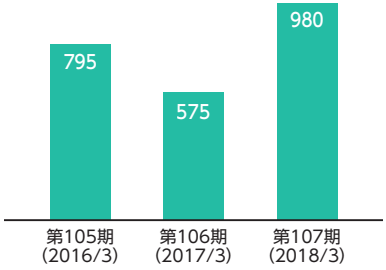
営業利益

(単位:百万円)



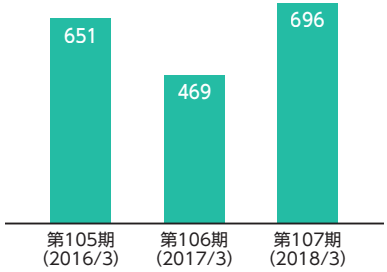
経常利益

(単位:百万円)



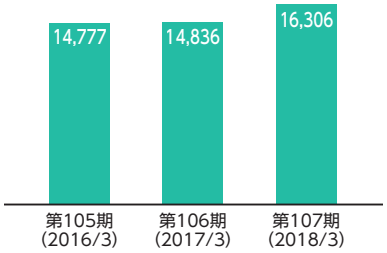
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:百万円)



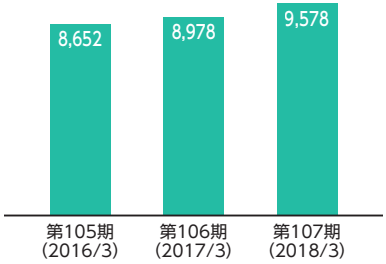
総資産

(単位:百万円)



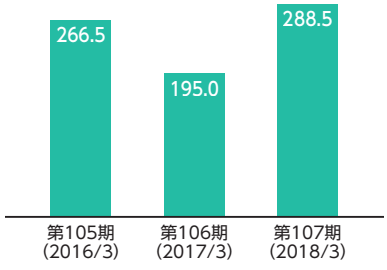
純資産

(単位:百万円)



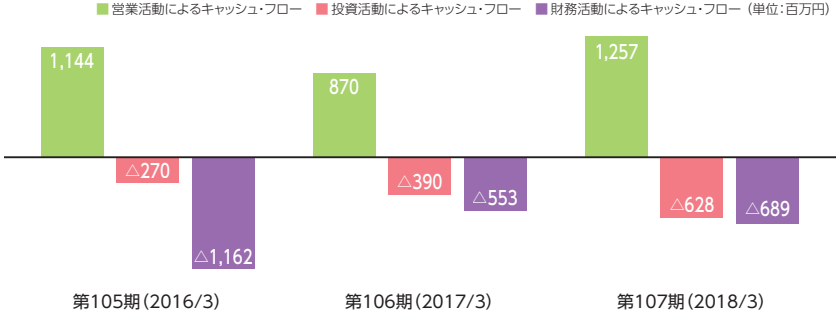
1株当たり当期純利益

(単位:円)



※当社は2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり当期純利益につきましては過年度に遡及して修正しております。

キャッシュ・フローの状況



自動車の重要な電装部品を手がける多くのメーカーが採用

抵抗溶接用電極

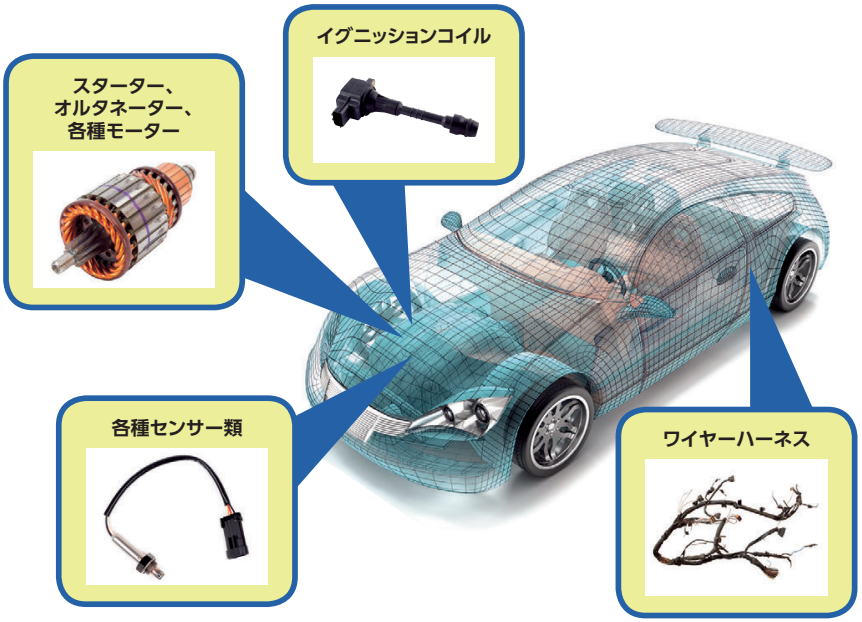
抵抗溶接用電極とは？

抵抗溶接とは、被溶接物を電極で加圧しながら電流を流し、被溶接物の自己抵抗発熱により接合する工法です。

しかし、銅等の非鉄金属の溶接では、銅が低抵抗かつ高熱伝導であり、溶接に必要な抵抗発熱が得られにくいため、大電流を流しながら電極の発熱も利用した溶接方法がとられます。このような厳しい条件下の溶接電極には、高温特性に優れ、高抵抗である「タングステン」が電極として使用されます。

私たち日本タングステンは、このような非鉄金属の抵抗溶接に対して優れた性能を発揮する電極を提供しています。

クルマの未来と安全性を支える日本タングステンの製品



当社の抵抗溶接用電極は自動車、電機部品、家電等様々な業界で使用されています。

自動車においては発電機、スターター、パワステ用モーターやそのECU（電子コントロールユニット）など、重要な電装部品を手がける多くのメーカーが当社の電極を採用しています。

EV自動車（電気自動車）-PHV自動車（プラグインハイブリッド車）が主流になりつつある中、さらなるニーズと当社シェアの拡大が期待されます。

会社概要・株式の状況

会社の概要　2018年3月31日現在

設立	1931年(昭和6年)4月1日
資本金	25億950万円
従業員数	486名(連結)
本社	福岡市博多区美野島一丁目2番8号
事業所	支店：東京・大阪・名古屋・九州 工場：基山・飯塚・宇美

役員　2018年6月28日現在

取締役社長	後藤　信志	代表取締役 社長執行役員
取締役	徳本　　啓	常務執行役員 経営戦略本部長 コンプライアンス担当
取締役	毛利　茂樹	執行役員 機械部品事業本部長、開発技術センター担当
取締役	山﨑　　洋	執行役員 製造統括本部長 兼 基山工場長
取締役	大島　正信	
社外取締役	伊﨑　数博	九州電力株式会社 代表取締役副社長
取締役	今里　州一	監査等委員(常勤)
社外取締役	斉藤　芳朗	監査等委員 徳永・松﨑・斉藤法律事務所 代表弁護士
社外取締役	久留　和夫	監査等委員 久留公認会計士事務所 代表
	三島　　彰	執行役員 電機部品事業本部長
	江原　清貴	執行役員 営業本部長
	中原　賢治	執行役員 機械部品事業本部副本部長

株式の状況　2018年3月31日現在

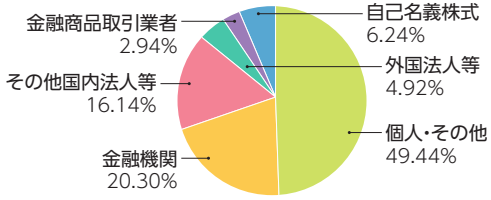
発行可能株式総数	10,000,000株
発行済株式の総数	2,577,760株
単元株式数	100株
株主総数	2,986名

■大株主の状況

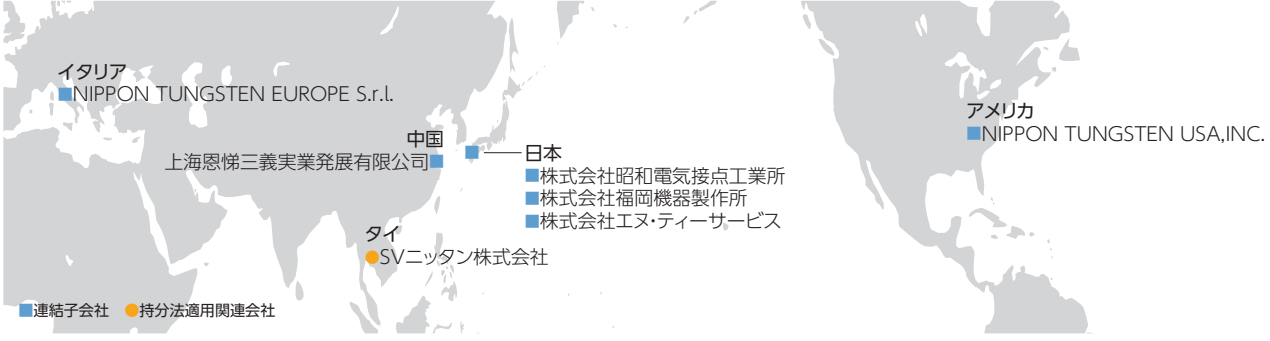
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
九州電力株式会社	166	6.89
株式会社福岡銀行	107	4.43
日本タングステン従業員持株会	83	3.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	70	2.90
みずほ信託銀行株式会社	64	2.66
明治安田生命保険相互会社	60	2.48
日本タングステン取引先持株会	53	2.23
株式会社西日本シティ銀行	50	2.10
株式会社佐賀銀行	50	2.06
宇部マテリアルズ株式会社	40	1.65

1. 持株数は、千株未満を切捨てて表示しております。
2. 上記の他、自己株式160千株(6.2%)を保有しております。
3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



関連会社　2018年3月31日現在



株主メモ

決算期	3月31日
基準日	定時株主総会、期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日 そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めます。
定時株主総会	6月
上場証券取引所	東京(2部)、福岡
証券コード	6998
公告方法	当社のホームページ(https://www.nittan.co.jp/)に掲載します。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部

お問い合わせ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル:0120-288-324 (受付時間 土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

単元未満株式の買取制度のご案内

単元未満株式(100株未満)の買取は以下の要領でお申し出ください。なお、買取に係る手数料は無料です。

お手続き方法

●**証券会社等の口座に記録されている単元未満株式**
お取引口座のある証券会社等(口座管理機関)にお申し出ください。

●**特別口座に記録されている単元未満株式**
みずほ信託銀行にお申し出ください。

【みずほ信託銀行 証券代行部】
フリーダイヤル:0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

●ホームページのご案内

株式関連情報他をホームページにて公開しております。是非、ご覧ください。

https://www.nittan.co.jp/

日本タングステン株式会社
〒812-8538 福岡市博多区美野島一丁目2番8号
TEL(092)415-5500(代表)　FAX(092)415-5511
ホームページアドレス　https://www.nittan.co.jp/

UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK
環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。